めぐみの森だより　2023年9月号

社会福祉法人　雲柱社　めぐみの森保育園　　☎　03-3480-4448

～だから保育士はやめられない～

先日、以前に勤務していた墨田区にある「光の園保育学校」に卒園児に会いに出掛けてきました。その子と会うのは、2014 年以来 9 年ぶりの再会。高校生になった卒園児が、職場体験で保育園に帰ってくると聞きつけ、いてもたってもいられず、無理をいって時間を作らせてもらいました。T さんがいたクラスは、3 歳児クラスから 3 年間持ち上がりで卒園を見届けました。T さんが職場体験に来るということを告げると、その当時を知る職員たちの間では「えっ、あの T さん？」と、話題になるほど記憶に残る男の子でした。その子は、何でも一番にならないと気がすまず、列に並ぶ際、一番になれないことで怒っては泣き、朝の集まり時、一番前に座れないことで怒っては泣き、トラブルも日常茶飯事でした。当時の私は、そんな彼の姿に少し疲れ、「またか、、、」なんて思いをもってしまっていたこともありました。彼が卒園し 10 年近くたった今でも、「あれでよかったのかな。」「もっとできたことはあったのではと。」振り返ることがあります。そんな彼が、職場体験に来ることになったなんて。光の園で職場体験をすることを選択してくれたなんて。彼にとって保育園が嫌な場所ではなかった、と言ってもらえたようでただただ嬉しかったです。

職場体験当日、朝の8:30 より光の園の事務室で待ち構えていました。玄関から入ってくると、すぐに彼だとわかり思いきり手を振ってしまいました。彼はちょっと恥ずかしそうにしながらも笑って挨拶をしてくれました。さっそく職場体験が始まり、4・5歳児クラスの子どもたちと一緒にあそびはじめます。遠くから見ていると、見られていることを気にしつつも、子どもたちにやさしく声をかけ、子どもたちに合わせてあそんでいる姿に、ただただ涙が止まらず、そんな彼の姿を見られたことがとても幸せでした。少し話す時間があったので、「将来はどんな道に進みたいの？」と聞いてみると、「教育系に行きたいと思っています。」「小学校の先生？」「保育園も考えています。」なんと、なんと、あの彼が保育士になりたいと思ってくれているなんて。卒園後、両親をはじめたくさんの方々が支えてくれたからこそ、今の彼があることは言うまでもありませんが、子どもたちは大人の思い通りには成長しません。だからこそ、「こうなってほしい。」「こうしなければ。」と大人の願いばかりにとらわれず、目の前にいる一人一人の存在を認め、愛をもって関わっていくことぐらいしかできないと改めて思いました。私は最後まで見送ることはできませんでしたが、帰り際「また来たい。」と頼もしい顔で帰っていったと嬉しい報告も聞くことができました。

（記：園長　藤本）

①　最後の晩餐に食べたいものはこれ！②欲しいものはこれ！③至福の時間はこれ！

①　おにぎりとお味噌汁

海苔が好きで、時々白いご飯に海苔を巻いて食べることもあります。味付け海苔ではなく、何もついていない海苔を、何もつけずにご飯に巻いて食べた時の海苔の風味が大好きです。汁物も好きで、それも熱々に温めたものが好きです。保育園で昼食を食べる時には、事務室用の鍋を熱々に温めるので、私の後に食べる人は、なかなか飲むことができず大変なようです。最後の晩餐は、やっぱりこのセットにしたいですね！

②　沖縄のリゾートマンション

毎年訪れてしまうほど沖縄が好きなので、『リゾートマンション』欲しいです！！

③　アラームをかけずに眠りにつく瞬間

睡眠欲がとても強く、毎日眠る瞬間が至福の時。特にアラームをかけなくてよい休前日は、さらに喜びが増します。その反面、起きる瞬間がとにかく嫌いです。。。